

北陸地方整備局
記者発表

発表 日時	平成22年 3月26日
----------	-------------

平成22年度

北陸地方整備局関係予算の概要

記者発表資料

北陸地方整備局

都道府県別の箇所表は以下のホームページに掲載されております。

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo05_hy_000017.html (国土交通省)

本発表資料の参考資料は以下のホームページに掲載しております。

<http://www.hrr.mlit.go.jp> (北陸地方整備局)

取 扱	資料配布をもって解禁
問い合わせ先 電 話：025-280-8880 (代表)	
総 括 企画部 企画課長	すぎもと 杉本 (内線3151)
治 水 関係 河川部 河川計画課長	やまもと 山本 (内線3611)
道 路 関係 道路部 道路計画課長	きむら 木村 (内線4211)
港湾空港関係 港湾空港部 港湾計画課長	あさみ 浅見 (内線6241)
国営公園関係 建政部 都市・住宅整備課長	わたなべ 渡邊 (内線6161)
官庁営繕関係 営繕部 計画課長	はやし 林 (内線5151)

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ、新潟県政記者クラブ、富山県政記者クラブ、石川県政記者クラブ、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、長野市政記者クラブ、高山記者クラブ、福井県政記者クラブ、長岡市政記者会、上越記者クラブ

平成22年度 北陸地方整備局関係予算の概要

1. 国土交通省関係予算の配分方針

平成22年度国土交通省関係予算については、既存予算を抜本的に見直し、施策の大転換を図るとともに、事業の効果や妥当性等を十分に吟味しつつ、予算を計上したところです。これを踏まえ、一般公共事業等予算の配分にあたっては、安全・安心、暮らし・環境、活力・成長力など当面する課題に対応する事業に重点を置くこととし、質の高い住宅・社会資本整備を効率的・効果的に推進することとしています。

2. 平成22年度完成・供用事業(代表事例)

日本海沿岸東北自動車道 神林岩船港IC～朝日まほろばICの暫定供用(新潟県)



平成22年度は平成22年3月28日に予定されている荒川胎内IC～神林岩船港ICの暫定供用に引き続き、神林岩船港IC～朝日まほろばIC間L=13.3kmが暫定供用する予定です。これにより、第3次医療機関への搬送時間の短縮等の医療活動の充実、物流エリアの拡大、広域観光交流に寄与します。

第三次救急医療施設の
60分圏域

完成時の60分到達ライン

拡大!

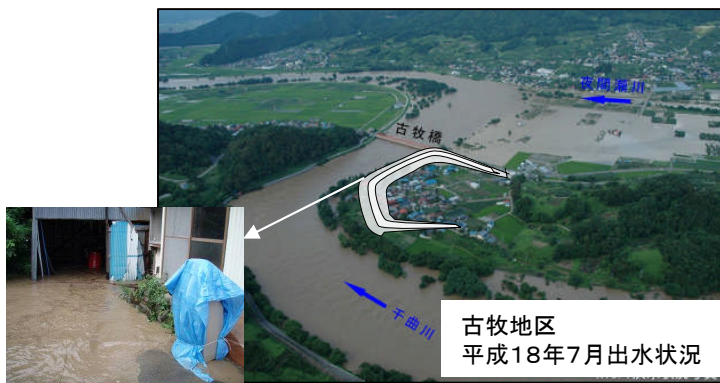
現況の60分到達ライン

[県立新発田病院～朝日支所 所要時間]

整備前	1時間2分
約15分短縮!	
整備後	47分

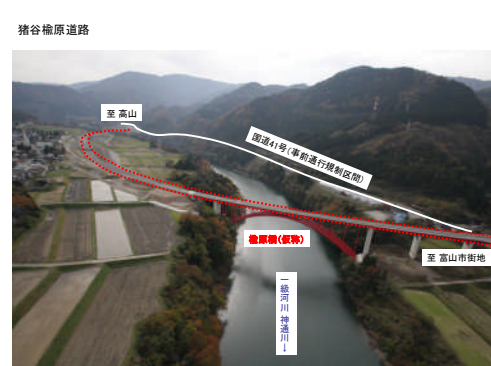


千曲川古牧地区土地利用一体型水防災事業完成(長野県)



千曲川の立ヶ花狭窄部下流は無堤地区が存在し、平成18年7月18日の出水時に浸水被害を受けていることから、浸水被害を防止するため堤防の整備を推進します。平成20年度から土地利用一体型水防災事業により着手している古牧地区については輪中堤を完成させます。

国道41号猪谷楡原道路の部分供用(富山県)



猪谷楡原道路は、国道41号の事前雨量規制区間の解消及び除雪障害等の解消を目的として、平成9年度より事業着手しているところです。平成22年度は庵谷～楡原間L=3kmの供用を図ります。

国道159号 松浜自歩道事業(石川県)



当該箇所は、沿道店舗や家屋への出入りや交差点部における追突事故が多発し、小・中学校の通学路であるにもかかわらず、歩道未設置や歩道幅員狭小区間が存在しています。このため、中央ゼブラ帯や右折レーンの設置による追突事故の防止、併せて自転車歩行者道を設置することとしています。平成22年度は用地買収、工事を推進します。

浦川床固工群の完成(長野県)



稗田山の大崩壊により浦川流域下流部に堆積した不安定土砂が局所的な河床低下や溪岸侵食を引き起こしているため、床固工群を整備し、河床並びに斜面の安定を図るものです。

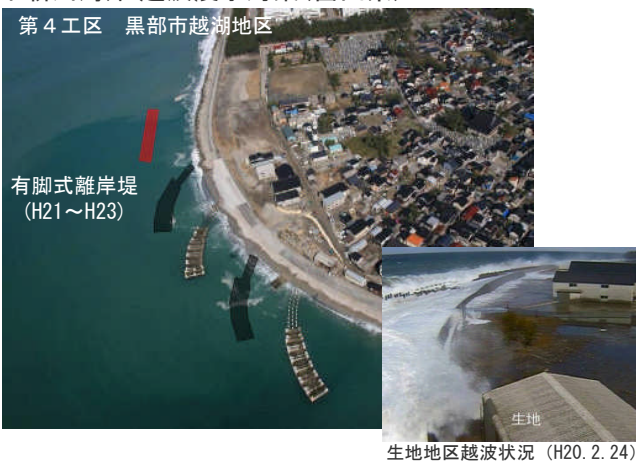
3. 平成22年度継続事業(代表事例)

信濃川 大河津可動堰改築(新潟県)



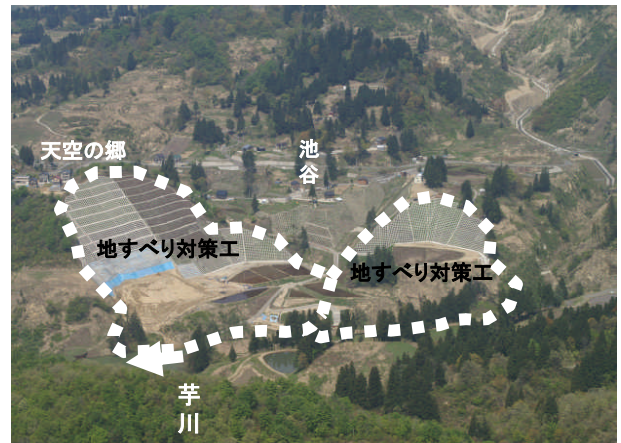
老朽化が著しく、洪水の流下の阻害となっている大河津可動堰について改築を実施するものであり、堰本体の整備を推進します。

下新川海岸 越波浸水対策(富山県)



平成20年2月24日に発生した高波浪により被害を受けた下新川海岸において越波による浸水被害を防止するため黒部市越湖地区、入善町五十里地区、神子沢地区の海岸保全施設の整備を推進します。

芋川流域砂防事業・芋川地区地すべり対策(新潟県)



平成16年10月23日の新潟県中越地震により流域内で多数の山腹崩壊や地すべりが発生し、大量の不安定土砂が堆積している芋川において砂防堰堤、溪岸保全工及び地すべり対策の整備を推進します。

梯川 牧・小松地区 分水路整備(石川県)



平成18年7月18日をはじめ近年避難勧告や避難準備情報が発令されている梯川において洪水を安全に流下させるため小松市小松地区の分水路等の整備を推進します。

国道8号系魚川地区橋梁架替事業(新潟県)



塩害による損傷が著しい橋梁の恒久対策として架け替えを行い、計画的な恒久対策を実施することにより、損傷による荷重制限等の規制が回避されます。平成22年度は、両鬼橋(L=60m)の架替を完了させるとともに、能生大橋(L=141m)の橋梁下部工事、青海跨線橋(L=26m)の取付道路工事、及び筒石橋(L=112m)の用地買収に着手します。

金沢港多目的国際ターミナル (石川県)



金沢港は、石川県の物流拠点として、市民生活・産業活動に重要な役割を担っています。平成18年度より、船舶の大型化への対応を図り、物流コストの削減・効率的な輸送と荷役作業を可能とする多目的国際ターミナル整備を進めています。平成22年度は航路及び防波堤の整備を推進します。

国営越後丘陵公園 (新潟県)



国営越後丘陵公園は、本州日本海側で初めての国営公園であり、恵まれた自然環境を保全しつつ、広域的レクリエーションや文化活動への対応を図るべく整備を進めています。

平成22年度は「健康ゾーン」の越野池の改修や「里山フィールドミュージアム」の里山自然館の整備を推進します。

敦賀港 鞠山南地区多目的国際ターミナル(福井県)



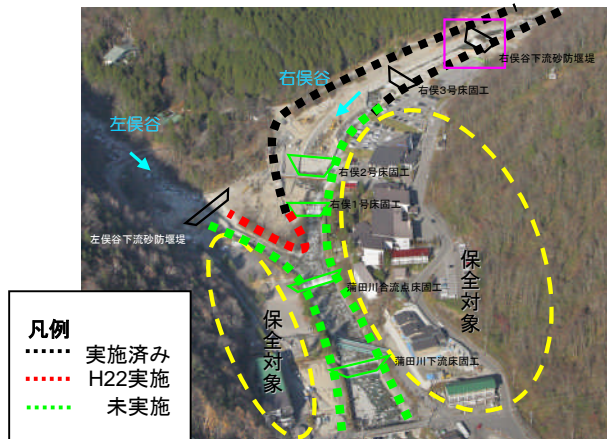
敦賀港鞠山南地区では、静穏な水域を確保し、航行船舶の安全性や荷役稼働率を向上させ、効率的な港湾物流を図るため防波堤(計画延長L=1,330m)の整備を実施しています。これにより、物流機能の向上、敦賀港背後地域の経済発展に寄与するものです。平成22年度は防波堤の整備を推進します。

新潟港国際海上コンテナターミナル (新潟県)



新潟港では、外貨コンテナ取扱貨物の増加に対応できず、入港船舶の沖待ちが課題となっており、効率的な港湾荷役の確保、及び近年多発する大規模地震に対応するため耐震機能を備えた国際海上コンテナターミナルを整備しています。平成22年度は岸壁、泊地、航路の整備を推進します。

神通川砂防 新穂高地区(岐阜県)



新穂高地区は、多くの観光客が訪れる地区ですが、上流域の脆弱な地質、多雨多雪な気象条件等によって、平成9、10年と連続して土砂流出が発生、平成19年にも直上流で山腹斜面の崩壊が発生しています。また、当該地区を流下している蒲田川は、川幅が狭く宿泊施設等の保全対象が河岸に接近しているため土砂流出による被災の危険性が高い状況にあります。このため、流出土砂を円滑に流下させることにより、保全対象(人家2戸、公共施設5戸)の安全を確保します。また、観光地であるため景観、親水性等に配慮しつつ、安全で住みよい地域の創出を図ります。

【参考】平成22年度 事業別配分額

【直轄】

(単位:百万円)

区	分	平成22年度	平成21年度	倍率
治	水	47,567	48,575	0.979
海	岸	4,419	4,654	0.950
道	路	45,456	61,834	0.735
港	湾	13,627	15,291	0.891
道	路	21,308	25,575	0.833
都	市	1,839	2,026	0.908
国	営	1,246	1,575	0.791
官	庁	2,925	2,943	0.994
合	計	138,387	162,473	0.852

※業務取扱費を除く